

**三原発！商店街のにぎわい創出に向けた、  
プログラミング教育の仕組みづくり実証**

**MIHARAプログラミング教育推進協議会  
(代表団体：一般社団法人RoFReC)**

# 概要

## 広島県三原市



クラブ設置総数(ヶ所) 2ヶ所

講座実施総数(回) 14回

クラブ名称

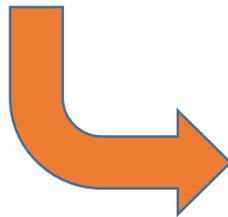
- ✓ プログラミングワンダーランド
- ✓ キッズ Blossom (特別支援級等向け)

構成員種別		主な属性	人数(名)
参加者	児童 生徒等	中学生・小学5&6年生	80
	発達障 害児	特別支援級等の小・中学生	10
メンター		大学生、主夫／主婦、会社員、市議会議員等	29
サポーター		会社役員、主婦 ※サポーターを、メンターの指導的立場と定義	2

# 背景



20年前の駅前風景



現在の駅前風景





# 私たちの目指す未来の絵姿

ICTやIoTで垣根をこえた、あたたかみのある地域コミュニティ



すべての人が住みやすく、すべての人が精神的に豊かに暮らすまち

# 実施目的

コミュニケーションロボットで、ICT人材の育成と商店街の活性化を  
両立させる、三原発の“ITの学びのモデル”を確立する

メンター・サポーター・  
児童生徒等



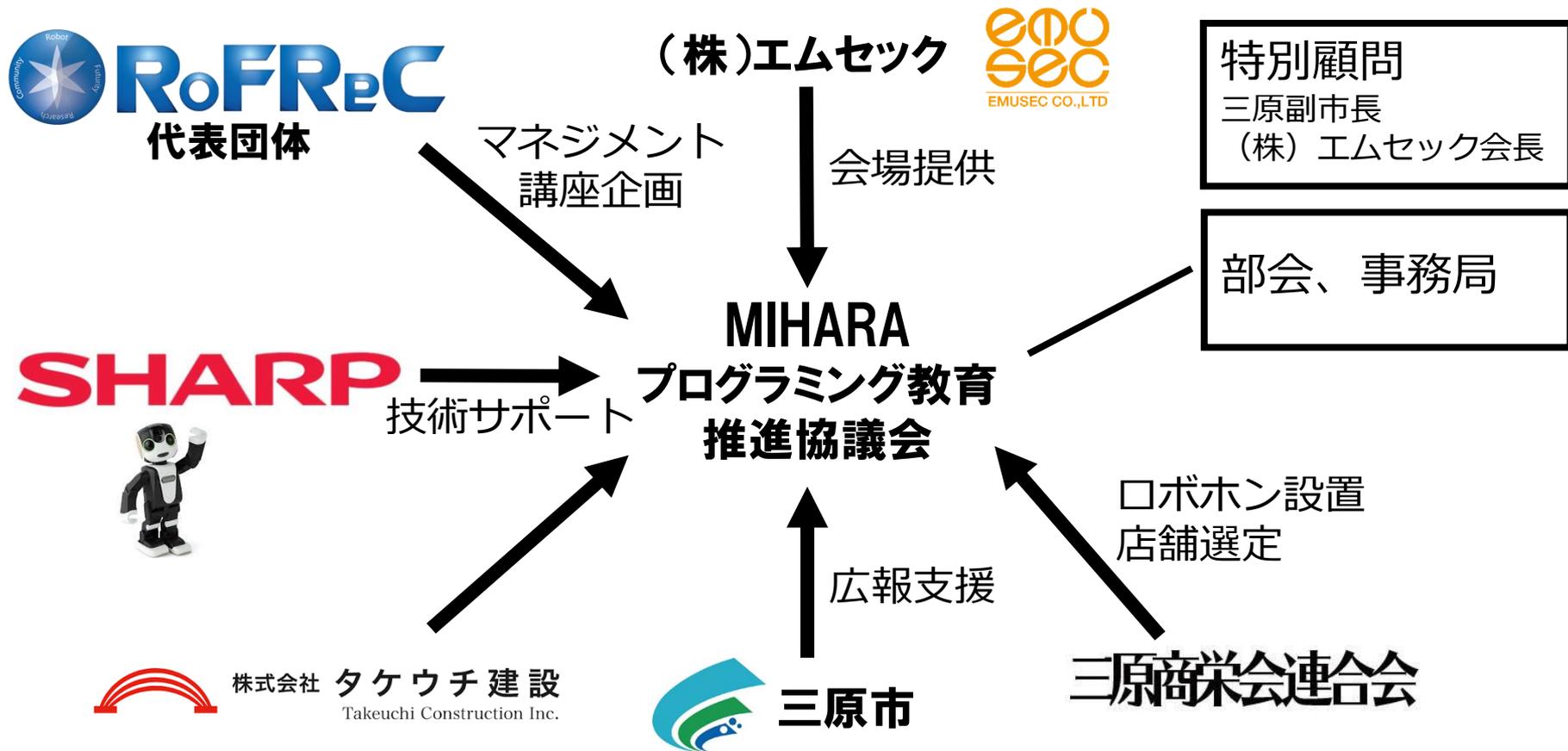
© SHARP CORPORATION

シャープ製ロボホン

商店街(飲食店・ホテル・  
お土産屋等)



# クラブ組成



代表団体RoFReCが中心になり、行政、プログラミングのプロフェッショナル、会場提供、商店街関係者等を組織化。担当者連携により、駆動力のある企画運営を進めた。

# メンター確保・育成

29名（ワンダーランドは23名、キッズブロッサムは6名）

※4名は広島県外から（愛媛、徳島、兵庫） ※学生、会社員、市議会議員等の参加  
※サポーターは2名、「メンターの指導的立場の人材」と定義



## 研修内容と講師

- ✓ 児童生徒等に対するメンターの心構え  
→東京都小金井市立前原小学校 校長 松田 孝 先生
- ✓ ロボホン設置に向けたITエンジニアとしてのスキルアップ  
→Code for Hiroshima共同代表 石崎 浩太郎 氏
- ✓ グローバル時代を生き抜く人材育成の考え方  
→元Google米国本社副社長兼日本法人代表取締役社長 村上 憲郎 先生

# 講座

目標は、ロボホンを三原市内の商店街7か所に設置して、一人でも多くの人を笑顔にすること。内容は、店舗や施設で役立つロボホンのプログラミングを行うこと。



## 教材の選定

広島出身のコミュニケーションロボット・ロボホンを活用する理由

- ①カワイイため、地域の人気者であること
- ②スクラッチによって、プログラミングできること
- ③店舗や施設へ、ロボホン活用による業務改善の提案ができること

# VTR



「お店の課題は何？」 「顧客を笑顔にするためには？」  
グループで考え抜きました

# 講座

現場の課題調査



ロボホンの仕様考案



現場に設置



プログラミング



# 仕組みづくりの実証

児童生徒が、商店街とかかわることで、  
キャリア教育の意義を持たせることが狙い

ロボホン設置で、成果を披露する機会とし、  
児童生徒やメンターの意欲向上が狙い



業務改善・課題解決  
 ← ロボットを用いる  
 プログラミング教育 →



飲食店やホテル等

プログラミング教育の  
理解推進

← ロボット探検ラリー →



地域住民や親子等



地域貢献を果たしたチームに、  
三原市長プログラミング賞を授与

子どもたちのプログラミングした  
冬の  
おもしろ企画!

## ロボット をめぐる 探検ラリー

開催

日付 12月15日[土]~26日[水]

方法 スマートフォンをもって、ロボットをめくります。  
詳しくは、ウェブサイトをご確認ください。

参加費 無料・要申込

ロボホン設置場所  
 あすなろ苑  
 三多層  
 スーパーホテル 三原店  
 まことや イオン三原店  
 みはら歴史館  
 ゆめの木珈琲  
 まびす家本店

メッセージ  
 若菜たちがプログラミングしたロボットが、  
 いよいよ三原市内に置かれます。みんなで、  
 会いに行ってみよう!

設置ロボット  
 広島県産の3Dプリンターで印刷したスマートフォン  
 「ロボホン」(シャープ製)です。

景品引換方法  
 景品引換は、探検ラリーに参加したスマートフォンを  
 提示してください。景品引換は限定期間です。  
 日時：12月23日、24日、25日、26日 午前10時~12時  
 場所：アライメントセンター 三原  
 (三原市御幸町1-12-5 エムセックビル5F)

ロボホンをめぐるイベント

# アンケート結果



店舗等

ロボホンが課題解決の要望に、「とても応えた（43%）」  
「応えた（57%）」  
ロボホンを継続的に、「設置したい（86%）」「前向きに検討したい（14%）」

「いままで子連れのお客様が少なかったが、ロボット探検ラリーを通じて、数多くの親子がご来店してくれた（寿司屋）」  
「外国人観光客に対し、ロボホンが英語や中国語で商品説明することで、三原のお土産の魅力を伝えることができた（お土産屋）」



児童生徒等

「講座は楽しかった（96%）」

講座は、「簡単だった（18%）」「少し難しかった（63%）」  
「難しかった（19%）」

スタンプラリーは、200名以上の参加者が、商店街を周遊し、食事や買い物をした。

# 次年度以降の計画

- プログラミングワンダーランドは、2019年3月より参加費徴収にて自走中
- キッズ Blossom（特別支援級等向け）は、2019年1月より参加費徴収にて自走中
- 新規プロジェクトを2つ、立ち上げ準備中（メンターコミュニティの活発化に向けた工夫）。



三原だるま、を用いる  
プログラミング教材を開発中！



学校貢献、を果たすべく  
三原市内の学校と連携推進中！

広島県三原市の地域ICTクラブは、成長し続けます！！

以上です

ご清聴ありがとうございました  
展示ブースで、お待ちしております